取扱説明書

DLC-101MP バレット型電動ズームカメラ

アイゼック株式会社

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

規制情報

FCC情報

コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を使 用者が行うと、その使用者の機器操作に対する権限を無効にする可能性があること に注意してください。

FCCコンプライアンス:この機器はFCC規則の第15章に従ってテストされており、準ク ラスAデジタル機器に対する制限に準拠していることが確認されています。これらの 制限は、機器が商用環境で動作している際、有害な干渉に対して合理的に保護する ように設計されています。この装置は、無線周波数エネルギーを生み、使用し、放射 します。取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を 引き起こす可能性があります。住宅地でこの機器を操作すると、有害な干渉が発生 する可能性があります。その場合、お客様自身で干渉を修正する必要があります。

FCCの条件

この製品は、FCC規則の第15章に適合しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。

1. 製品が有害な干渉を起こさないこと

2. 製品が、不適切な動作を引き起こす可能性がある干渉を含み、干渉を受けてもこれに対応していること。

EU適合宣言

- **この製品と、付属のアクセサリには「CE」のマークが付いているため、低電圧指** 今2014/35/EU 電磁面立性指令2014/30/EU お上び有害物質使用制限指令
 - 令2014/35/EU、電磁両立性指令2014/30/EU、および有害物質使用制限指令 2011/65/EUで求められる要求事項に適合しております。



2012/19 / EU(WEEE指令):このマークが付いている製品は、家庭ごみとして廃棄 できません。適切にリサイクルするために、同等の新品を購入したら、この製品を 最寄りの販売店に返送してください。または指定された収集場所で廃棄してくださ い。詳細については、以下を参照してください。www.recyclethis.info 2006/66 / EC(バッテリー指令):



この製品には、家庭ゴミとして廃棄できないバッテリーが含まれています。詳しい バッテリー情報については、製品の書類を参照してください。このマークがついて いるバッテリーにはカドミウム(Cd)、鉛(Pb)、または水銀(Hg)が含まれているこ とがあります。適切にリサイクルするには、バッテリーを販売元または指定された 収集場所に返送してください。詳細については、以下を参照してください。 www.recyclethis.info

カナダ産業省ICES-003コンプライアンス

このデバイスは、CAN ICES-3(A)/ NMB-3(A)規格の要件を満たしています。

警告: これはクラスAの製品です。家庭環境では、この製品は電波干渉を引き起こす可能性が あり、その場合、使用者は適切な措置を講じる必要があります。

安全指導

これらの手順は、ユーザーが製品を正しく使用して危険や財産の損失を回避できる ようにすることを目的としています。

予防措置は「警告」と「注意」に分けられます。

- **警告**: 警告のいずれかを怠ると、重傷または死亡事故が発生する可能性があります。
- 注意: 注意を怠ると、怪我や機器の損傷が発生する可能性があります。





- デバイスを使用する際には、国および地域の電気安全規制に厳密に準拠する必要があります。
- 入力電圧は、<u>SELV(Safety Extra Low Voltage)と、IEC60950-1規格に準拠した12VDCの</u> LPSの両方を満たす必要があります。詳細については、技術仕様を参照してください。
- 過熱や過負荷による火災の危険を避けるために、複数のデバイスを1つの電源アダプタに 接続しないでください。
- プラグが電源ソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 壁または天井に取り付ける場合は、機器がしっかりと固定されていることを確認して ください。
- 機器から煙、臭い、ノイズが発生した場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてから サービスセンターにご連絡ください。
- 専門家でない人がカメラを分解しようとしないでください。



- カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。
- センサーモジュールに指で触れないでください。
- カメラを極端に高温、低温(動作温度は-40°C~60°C)、ほこりの多い場所、または湿 気の多い場所に置かないでください。また、高電磁波にさらさないでください。
- クリーニングが必要な場合は、エタノールを少し加えた清潔な布を使用して、軽く拭いてく ださい。
- 太陽や非常に明るい場所にカメラを向けないでください。
- センサーがレーザー光線で焼損する可能性がありますので、レーザー機器を使用する場合は、センサーの表面がレーザー光線にさらされないようにしてください。

- デバイスを高電磁波が発生している環境、または極端に高温、低温、ほこりの多い、湿気のある環境にさらさないでください。
- 熱の蓄積を避けるため、風通しの良い動作環境に配慮してください。
- 非防水装置の使用中は、カメラを水から遠ざけてください。
- 持ち運びの際、カメラは元の梱包材、または同等の梱包材を使用する必要があります。

マークの説明

表0-1マークの説明

マーク	説明
2014 102-	DC電圧

1商品説明

1.1 製品の特徴

主な機能は次のとおりです。

- ●高性能CMOSセンサー
- ●自動切り替え機能付きIRカットフィルター
- ●設定可能なパラメータを備えたOSDメニュー
- ●自動ホワイトバランス
- SMART IR
- ●PoC
- ●3軸調整

1.2 構造



2取り付け

- ●商品の中身の状態に問題がなく、すべての組み立て部品が含まれていることを確認して ください。
- ●取り付けの際、関連するすべての機器の電源がオフになっていることを確認してください。
- ●設置環境については、製品の仕様を確認してください。
- ●損傷を防ぐために、電源が出力と一致しているかどうかを確認してください。

- ●壁がカメラとマウントの3倍の重量に耐えるだけの強度があることを確認してください。
- ●壁がセメントの場合は、カメラを取り付ける前に拡張ボルトを挿入します。壁が木製の場 合は、セルフタッピングネジを使用してカメラを固定します。
- ●製品が正常に機能しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。お客様自身で修理やメンテナンスのためにカメラを分解しないでください。

2.1 カメラの設置

2.1.1 天井/壁への取り付け

各カメラの設置手順は類似しており、以下では手順を説明するために例として取り上げます。

- 1. カメラを設置したい場所にドリルテンプレート(付属)を貼り付けます。
- 2. ドリルテンプレートに従って、天井/壁にネジ穴を開けます。



図2-1ドリルテンプレート

- 3. ケーブルをケーブル穴または側面の開口部に通します。
- 4. 付属のネジでカメラを天井に取り付けます



図2-2カメラを天井に取り付ける

- ・ 付属のネジパッケージには、セルフタッピングネジと拡張ボルトが含まれています。
- ・ 壁/天井がセメントの場合、カメラを固定するために拡張ボルトが必要です。木製の場合、セルフタッピングネジが必要です。
- 5. 対応する電源コードとビデオケーブルを接続します。
- カメラの電源を入れて、モニターの画像が最適な角度から撮影されているかどうかを確認 します。そうでない場合は、最適な角度にするために下の図に従ってカメラを調整します。



図2-33軸調整

- 1). Pネジを緩めて、パンの位置を調整します。[0°から360°] 調整終了後、ネジを締めて ください。
- 2). Tネジを緩めて傾斜位置を調整します。[0°から180°] 調整終了後、ネジを締めてく ださい。
- 3). Rネジを緩め、カメラを[0°から360°]回転させます。調整終了後、ネジを締めてください。

2.1.2 ジャンクションボックスを用いた天井/壁取り付け

事前にジャンクションボックスを購入する必要があります。各カメラの設置手順は類似しており、以下では手順を説明するために例として取り上げます。

- 1. カメラを設置したい場所にドリルテンプレート(付属)を貼り付けます。
- 2. ドリルテンプレートに従って、天井/壁にネジ穴を開けます。



3. ジャンクションボックスをカバーと本体とに分解し、カメラのネジ穴をジャンクションボックスのカバーのネジ穴に合わせます。

4. ジャンクションボックスのカバーにカメラを取り付けます。



図2-5ジャンクションボックスのカバーにカメラを取り付ける

5. ジャンクションボックス本体のネジ穴を壁/天井の穴に合わせて、その本体を天井/壁に 取り付けます。付属のネジでジャンクションボックスの本体を天井/壁に固定します。



図2-6ジャンクションボックスの本体を壁/天井に固定する

- 6. ケーブルをケーブル穴または側面の開口部に通します。
- 7. ジャンクションボックスのカバーと本体を組み合わせます。



図2-7ジャンクションボックスのカバーと本体の組み合わせ

8. 設置を完了させるために2.1.1 天井/壁のステップ5と6を繰り返します。

3.メニューの説明

以下の手順に従って、メニューを呼び出します。

- 手順:
- 1. 図3-1に示すように、カメラをDVR、およびモニターに接続します。

*レコーダーはTVI映像対応の製品をお使いください。



- 2. カメラ、TVI DVR、およびモニターの電源を入れて、モニターに画像を表示します。
- 3. レコーダーの「設定」⇒上段メニューの「デバイス」⇒コントローラPTZを選択します。

D	 (a) (b) (c) (c)	۲	2	 ۲	=
デバイス					
アラーム出力	1				/ 0
コントローラー&PTZ			. 0		
音声案内					
スポットモニター設定					
	CH 1				1
モーション領域	検出枠				6
モーション感度	5				1
ボタン音	OFF				1
	0				1
	1				1
	NORMAL C	LOSE			1
					n 's tr IL

 ポップアップがでてきますので2つの項目を設定します。チャンネル⇒カメラを接続している チャンネルを選択します。

1)本例ではch1にカメラを接続しているので1を選択

2)カメラ⇒選択肢の中から「UTC GENERAL」か「UTC HIKVISION」を選択します。以上を 設定したらOKを押して設定は完了です。



 映像画面でマウスの右クリックを押して出てきたポップアップの中から「カメラPTZ」を選 択しPTZ操作画面を開いてズーム操作やフォーカス操作が出来ます。
 OSDメニューを選択するとOSDメニューが表示されます。





図3-2メインメニューの概要

- 1). 矢印をクリックしてカメラを制御します。上/下方向ボタンをクリックして項目を選択 します。
- 2). 左/右方向ボタンをクリックして選択した項目の値を調整します。

3.1 ズーム/フォーカス(ZOOM/FOCUS)

ズームとフォーカスを調整できます。セカンダリメニューに入ると、Zoom + /-で上下の方向を制御し、Focus + /-で左右の方向を制御できます。

3.2 ビデオフォーマット(VIDEO FORMAT)

ビデオフォーマットは以下のとおりです。

Power	ビデオフォーマット
PoC.AT	2 MP@25 fps
	2 MP@30 fps

3.3 露出(EXPOSURE)

露出モード(EXPOSURE MODE)

露出モードは、GLOBAL、BLC、HLC、WDR、またはHLSに設定できます。

GLOBAL

GLOBALとは、照明の分布、ばらつき、非標準処理を調整する通常露出モードを指します。

・BLC(バックライト補正)

BLC(Backlight Compensation)は、正面の物体に光を補正してクリアに仕上げる技術ですが、 これにより光の強い背景が露出オーバーになってしまうことがあります。

・HLC(ハイライト補正)

HLC は ハイライト補正 を表します。カメラは強いスポット(画像の露出オーバー部分)を検出 し、強いスポットの明るさを下げて全体的な画像を改善します。

・WDR(ワイドダイナミックレンジ)

ワイドダイナミックレンジ(WDR)機能により、カメラは逆光の状況下でも鮮明な画像を提供します。視野に非常に明るい領域と非常に暗い領域の両方が同時にある場合、WDRは画像全体の輝度レベルのバランスを取り、鮮明で詳細な画像を提供します。

・HLS(ハイライト抑制)

日食と同じ視覚効果です。画像内の一部の明るさが閾値を超えると、この部分は黒くなります。そうすれば、全体の画像が鮮明になります。

AGC(オートゲインコントロール)

暗い条件での画像の鮮明さを最適化します。AGCレベルは、HIGH、MEDIUM、またはLOWに設 定できます。

注記:

AGCレベルを設定すると、ノイズが増幅されます。

アンチバンディング(ANTI-BANDING)

アンチバンディングは、低周波光や高輝度環境で画像を撮影する際の水平線(バンディング)の現象を防ぐことです。

3.4 照明設定(LIGHTING MODE)

ライティングモード

SMART、IR、ホワイトライトが利用可能です。

スマート/IR (SMART IR/WHITE LIGHT)

・IRライト

IR LIGHTをオン/オフにして、さまざまな状況の要件を満たすことができます。

・スマートIR(SMART IR)

スマートIR機能は、光を最適な強度に調整し画像の露出オーバーを防ぐために使用されます。

•D→N閾値(Day to Night Threshold)

Day to Night Thresholdは、デイモードをナイトモードに切り替える感度を制御するために使用 されます。値は1から9まで設定できます。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

•N→ D閾値(Night to Day Threshold)

Night to Day Thresholdは、ナイトモードをデイモードに切り替える感度を制御するために使用 されます。値は1から9まで設定できます。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

▷ホワイトライト(WHITE LIGHT)

WHITE LIGHTサブメニューで、モードをOFFまたはAUTOに設定できます。

OFF

この機能を使用しない場合は、OFFに設定します。

AUTO

このセクションでは、THRESHOLD と LEVEL を設定できます。

閾値(THRESHOLD)

閾値が高いほど、感度が高くなります

デバイスは暗い環境にあります。

レベル(Level)

補助光の最大輝度を調整できます。

3.5 ビデオ設定(VIDEO SETTING)

カーソルをビデオ設定に移動し、[Iris+]をクリックしてサブメニューに入ります。イメージモード、ホワイトバランス、明るさ、コントラスト、シャープネス、彩度、3DNRは調整可能です。

ビデオ設定					
イメージモード	<std►< td=""><td></td><td></td></std►<>				
ホワイトバランス	↓				
明るさ	⊲ 5►				
コントラスト	⊲ 5►				
シャープネス	⊲ 5►				
彩度	⊲ 5►				
3DNR	⊲ 5►				
BACK	∢ ∣				
EXIT	↓				
保存して終了	↓				

図3-3 ビデオ設定

画像モード(IMAGE MODE)

IMAGE MODEは画像の彩度を調整するために使用され、STD(標準)、HIGH-SAT(高彩度)、またはHIGHLIGHT(屋内で顔をより良く調整)に設定できます。

ホワイトバランス(WHITE BALANCE)

ホワイトバランスとは、カメラの白色再現機能で、環境に応じて色温度を調整することです。画像内の非現実的な色かぶりを取り除くことができます。ホワイトバランスモードはAUTOまたは MANUALに設定できます。

•AUTO

AUTOモードでは、シーンイルミネーションの色温度に応じてホワイトバランスが自動的に調整 されます。

MANUAL

R-GAIN/B-GAINの値を設定して、画像の赤/青の色合いを調整できます。

ホワイトバランス				
モード	⊲マニュアル ►			
R-GAIN	⊲ 5►			
B-GAIN	⊲ 5►			
BACK	↓			
EXIT	↓			
保存&終了	↓			

図3-4 ホワイトバランス

明るさ(BRIGHTNESS)

明るさとは、画像の明るさを指します。明るさの値を1から9に設定して、画像を暗くしたり明 るくしたりできます。値が大きいほど、画像は明るくなります。

コントラスト(CONTRAST)

この機能により、画像のパーツ間の色と光の差が強調されます。

シャープネス(SHARPNESS)

シャープネスは、イメージングシステムが再現できる詳細の量を決定します。

彩度(SATURATION)

彩度は、総色感覚に占める純粋な有彩色の割合です。この機能を調整して、色の彩度を変更します。

3DNR(3D DNR)

3DNRとは、3Dデジタルノイズリダクションのことです。一般的な2Dデジタルノイズリダクションと 比較して、3Dデジタルノイズリダクション機能は1フレームのノイズを処理するだけでなく、2つの フレーム間のノイズを処理します。ノイズがはるかに少なくなりビデオがよりクリアになります。

3.6 オーディオ設定(AUDIO SETTINGS)

オーディオ(AUDIO)

このサブメニューで機能をオンまたはオフにできます。

音量(VOLUME)

このサブメニューで音量レベルを調整できます。

3.7 機能(FUNCTIONS)

モーション検知(MOTION DET)

MOTION DETとは、モーション検出のことです。モーション検出機能を使用すると、カメラの視野のどの部分でも動きを検出できます。動きを検出するカメラの視野内で全画面もしくは複数のゾーンを設定できます。

プライバシー(PRIVACY)

この機能を使用すると、シーンの特定の領域をブロックまたはマスクして、個人のプライバシー が録画またはライブビューされるのを防ぐことができます。ニーズに合わせてプライバシーをオ ン/オフにすることができます。

3.8 工場出荷時のデフォルト

すべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

3.9 終了

カーソルを EXIT に移動し、「Iris+」をクリックしてメニューを終了します。

3.10 保存して終了

カーソルを「SAVE & EXIT」に移動し、「Iris+」をクリックして設定を保存し、メニューを終了します。